

紛争は、まだあります。  
でも、希望も、たくさん、  
たくさんあります。

戦場カメラマン  
渡部陽一



この世界は争いが絶えず、これから先の未来はどうなるのかなあという不安は誰しももっていると思います。でもその未来に生きるのは今の子どもたちです。平和な未来にするためには、その子どもたちを「今」どこでどうして紛争が起こっているのかをまず知ってもらうなければなりません。だから僕はテレビ番組に出て戦場のことを話したり写真を見せたりしているんです。その番組を見た子どもたちの口から「このヒゲの戦場カメラマンが言っている戦場って何？ どうして戦争って起こるの？」といった、戦争への関心が自然と言葉として出てきたときがとてうれしく、カメラマン冥利に尽きるんですね。

戦争をしたがっている人はごく一部で、ほとんどの人は戦争を求めていません。戦争を止めるためには相手を知ることが大事。今はインターネットなどの発達により、ひと昔前よりも、相手を知り、より深く、より早くつながることができるようになっています。事実、エジプトの独裁政権が流血なしで倒れたのはインターネットの力によるところが大きいのです。だから僕たちの力で争いのない平和な世界を作ることが十分可能で、今の世界は希望と勇気に満ちあふれていると感じています。希望は、たくさん、たくさんあります。

Yoichi Watanabe

## 渡部陽一

わたなべ よういち ●1972年、静岡県生まれ。フォトジャーナリスト。明治学院大学法学部卒。学生時代からアフリカや中東などの紛争地へ出かけ、そのままフリーランスのフォトジャーナリストに。以来20年間で130カ国を巡り、数多くの紛争地を撮影。著書に『硝煙の向こうの世界～渡部陽一が見た紛争地域～』『ぼくは戦場カメラマン』。写真集に『MOTHER TOUCH 戦場からのメッセージ』などがある。近年は独特な喋り方とユーモラスなキャラクターでバラエティ番組にも多数出演。お茶の間の人気者にもなっている。